

地域に広がっていきなかで 落ち葉の高揚

秋のある日。落ち葉をめぐる保育のエピソードを紹介します。
保育にかかわる3人の大人、それぞれの視点から書かれた記録です。（齋藤紘良氏より提供）

<保育者：しほの>

落ち葉で遊んだ日。その日は空気の冷たさを一段と感じ、手先の冷たさからも冬がやってきたなあ〜と感じられるようでした。園庭に出ると「寒い寒い！」と肩を震わせる子どもたち。りかさんと一緒にランニングをして「あったかくなるぞ〜エッサエッサ！」と楽しげに走りこむ姿もありました。そんな中、上島さんが近所からもらった大きな袋を持ってやってくると、"なんだろう？"と集まる子どもたち。袋の中からはたくさん枯葉が。パラパラでフカフカな様子からたくさん陽を浴びていたものなことが分かります。

「やー！」と枯れ葉の山に登ってみたり、「葉っぱの雨〜！」と投げ合って楽しむ子どもたち。ふんわり香る落ち葉の柔らかな香りと、舞う落ち葉が陽に照らされてキラキラと輝いて見えました。ブルドーザーのように両手を広げて落ち葉をかき分けるいおくん。髪の毛もフリースも口元までも落ち葉だらけになっていきますがおかまいなし。気づくと枯れ葉の妖精みたいな姿に変身していました。ランチの時間が近づき、部屋に入って上着を脱ぐ子どもたち。「わー！」という声の方に視線を向けると、たくさんのお土産が！！"あちゃー"と思いながらも広がる落ち葉を見て思わず一緒に笑ってしまうほど心も身体も温まった1日となりました。

<保育者：りか>

園庭に届いた落ち葉に一目散に駆け寄った子どもたち。埋もれたり、抱えたり、集めたり。感覚のまま、全身を使って落ち葉で遊ぶ子どもの姿に私も嬉しくなって一緒に遊んだ。

山のように積もった落ち葉の中を三輪車を漕いで進んでいく子どもに、保育者が、「ここで三輪車はやめとこうね」と声をかける。私も、『落ち葉に埋もれている子が見えなくて三輪車とぶつかるかも』『お寺の葉っぱをそのように扱ってもいいのかな』といった思いから、同様の声をかけた。実際、座ったり寝転んだりしている子どもがいたので危険ではあったと思う。

しかし、それでも落ち葉の中を漕ぎ進めたい子どもたち。その姿から、「この落ち葉の中を三輪車で進みたい」という感覚が、子どもたちの体を動かしていたのではないかと思った。そして、その感覚は自分自身が子どものころ、雪遊びをする感覚と同じだと思った。雪にダイブしたり、転がったり、滑ったり。雪で遊ぶときには、考えるよりも先にまず体が動く。落ち葉の中を三輪車で突進していく子どもたちも、絶対に楽しいその感覚を、味わわずにはいられなかったのだろうと思った。

開放的な空間にある、いつもはないたくさんの落ち葉。どうやって遊びたいか、どんな感覚が楽しいのか、どこに魅力を感じるのかは子どもたちひとりひとり違う。その「好き」「楽しい」「心地よい」をできる限り保証したいと思った。

地域に広がっていきなかで



- ・園の子どもたちにとって、近所に暮らす人や自然環境はどんな魅力をもっていますか？
- ・近所に暮らす人たちが身近に感じるような園には、どんな特徴があるのでしょうか？
- ・自分たちの住む地域が「子どもをまんなかにした社会」になると、何が変わるのでしょうか？

<近所の人>

昨晚は強い風が吹いた。

早朝に駐車場へ向かうと湖のように落ち葉が溜まっていた。すでに掃き掃除をしている人がいる。

「おはようございます。すごいですね、落ち葉。昨日帰る時はなかったのに。」そう言って掃き掃除に参加するとまもなくあとから2名が加わる。

しばらく掃き掃除をしていると体がホカホカしてくる。

「こんなに落ち葉がたまるの、久しぶりですね。」と誰かが言う。

「たくさん集めて落ち葉風呂にしたら楽しそうじゃないですか？久しぶりにやりたいな（笑）」と会話が続く。

「いいですね！」と答えつつ、近くの保育園の子どもたちは落ち葉風呂に入ったことがあるだろうか？あの、大量の落ち葉を前にした時の、汚れてもいいから飛び込んでしまえ！という高揚感を体験したことがあるだろうか？という想いがわいてくる。

「今日は保育園の子どもたちに落ち葉風呂へ浸かってもらいませんか？」と、アイデアが浮かぶ。

一緒に作業しているみんなが快く提案を受け入れてくれた。

すぐに保育園へ電話をして、大量の落ち葉を取りに来てもらった。

子どもたちが落ち葉で楽しそうに遊んでいる姿を思い浮かべると定期的に渡したいなと感じた。なんだかこれからの季節の落ち葉掃除が楽しくなりそうだ。

しかし、保育園の人たちはいきなり落ち葉を持っていってくれと言われて嫌な思いをしなかっただろうか。彼らの仕事を増やしてしまっただろうか。子どもたちは落ち葉風呂をほんとうに喜んだだろうか。

その場で盛り上がったアイデアの高揚が落ち着くと、少し不安になる。

でも、楽しく遊んでくれたらいいなあ。